

〔E類ソーシャルワークコース 対象〕

## 小論文 解答例

令和7年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

## 前期

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

問 右の文章を読んで、「福祉は知らない、直接お金を与えればいい」といった考えについて、一〇〇〇字以内（句読点を含む）であなたの考えを述べよ。

## 〔出題意図・解答例〕

〈福祉〉が貨幣的ニードのみを充足するもので、金銭の給付によって、すべての社会的ニードや福祉課題が解決されるのであれば、〈福祉は知らない、直接お金をあたえればいい〉だろう。しかし、〈福祉（ソーシャルワーク）〉の取り扱う社会的ニードや福祉課題には、金銭の給付のみでは充足が困難な非貨幣的ニードも含まれる。文中の「自分には何が必要だと思うか?」といった問いについて、自らでそれを決定することができる者ばかりではない。例えば、高齢者や障がい者、児童やひとり親、患者など、さまざまな事由により適切な判断が困難な状況にある者もいる。また、その判断には、本人を取り巻く家族や所属している組織や集団、地域や社会などの環境からの影響も受ける。このように、ソーシャルワークでは、本人のみならず、本人を取り巻く環境を含めた支援も重要となり、その際に、物品や人的サービスなどの現物給付により充足するのが適当とみなされる非貨幣的なニードもある。

よって、〈福祉（ソーシャルワーク）〉では、貨幣的ニードと非貨幣的ニードの両者を充足することで、人々の Wellbeing の増進を目指すことが求められていることがわかる。

ただし、このような原理や福祉の構造を理解した上で、福祉国家を刷新する所得保障の方法としてのベーシックインカムへの期待を中心に福祉のあり方を整理しても良い。

以上をふまえ、自分なりの考えを論理的かつ明快にまとめることができるかが解答のポイントとなる。

以上